



新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当メディカルセンターをご利用賜り誠にありがとうございます。

このたび、下記の検査項目を新たに受託開始いたしますので、ご利用いただきたくご案内いたします。

今後とも引き続きお引き立てのほどよろしくお願い申し上げます。

謹白

記

●受託開始日 2025 年 5 月 30 日（金）ご依頼分より

●新規項目内容一覧

項目 コード	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	検査方法	基準範囲 (単位)	所要 日数	実施料 判断料
1184	Mac-2 結合蛋白 糖鎖修飾異性体 (M2BPGi) 定量	血清 0.5	普	冷蔵 (14 日)	CLEIA 法	0.84 未満 (AU/mL)	2~4	194 ※

※：生化学的検査(I)判断料

今回の新規項目受託開始に伴い、下記検査項目の受託を中止させていただきます。

項目 コード	項目名	最終受託日
1179	Mac-2 結合蛋白糖鎖修飾異性体 (M2BPGi)	2025 年 5 月 29 日（木）ご依頼分をもって受託中止

詳細につきましては、渉外担当者までお問い合わせください。



岡山市医師会
総合メディカルセンター

TEL. 201-5550 FAX. 201-1352

●Mac-2 結合蛋白糖鎖修飾異性体（M2BPGi） 定量

カットオフインデックス（C.O.I.）から定量値での評価が可能となりました。

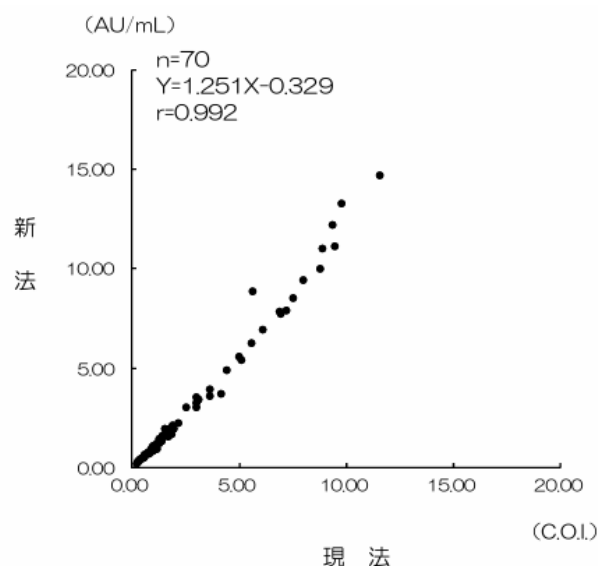
M2BPGi（Mac-2 結合蛋白糖鎖修飾異性体：Mac-2-binding protein glycosylation isomer）は、肝生検との一致率が高く、肝線維化のステージを反映することから肝線維化マーカーとして知られています。

従来法によるカットオフインデックス（C.O.I.）から定量値となることで、肝線維化の進行をより詳細に評価することが可能となり、慢性肝炎や肝硬変の早期発見から治療方針の選択・モニタリング時の検査としてさらなる活用が期待されています。

▼検査要項

	新	現
検査項目名	Mac-2 結合蛋白糖鎖修飾異性体（M2BPGi） 定量	Mac-2 結合蛋白糖鎖修飾異性体（M2BPGi）
項目コード	1184	1179
検体量	変更はありません	血清 0.5mL
容器	変更はありません	普
保存方法	変更はありません	冷蔵保存してください
所要日数	変更はありません	2～4 日
検査方法	変更はありません	CLEIA 法
基準範囲（単位）	0.84 未満 (AU/mL)	(-) 1.00 未満 (C.O.I.)
報告範囲（単位）	0.10 未満、0.10～59.9、60.0 以上 (AU/mL)	0.10 未満、0.10～20.00、20.01 以上 (C.O.I.)
桁数	有効3桁、整数2桁、小数2桁	有効4桁、整数2桁、小数2桁

●相関図



参考文献 Uojima H, et al : J Gastroenterol 58 (12) : 1252～1260, 2023.

(検査方法参考文献・臨床的意義参考文献)